

訓子府町の「ふるさと応援団」に参加いただき、ありがとうございます。
みなさまと訓子府町を結び便りにできればと考えております。



訓子府 KL 球友 全道大会準優勝！！

少年野球チームの訓子府 KL 球友は、8月4日に開催された、第36回ホクレン旗争奪北海道軟式少年野球大会に出場しました。

1回戦で猿払村アタッカーズ（宗谷）を3-0、2回戦で岩見沢東ブラックベアーズ（空知）を2-1で下し、ベスト8に進出しました。

翌日の準々決勝では、潮見ジュニア（渡島）に2-1で競り勝ち、準決勝では室蘭港北クラウン（胆振）に3-2でサヨナラ勝ちを収めました。決勝戦では、強豪・北陽レッドイーグルス（石狩）と対戦し、惜しくも敗れ、準優勝に終わりましたが、北海道大会で訓子府旋風を巻き起こしました。



「町長夏を走り抜ける」

町長's Eye



～印象に残った催し物から～

「師走」は年の暮れの慌ただしさを表した言葉ですが、私にとりましては、今年の夏は、それに引けを取らない、忙しいものとなりました。

初めに5月20日、昨年度開始されたオホーツクイメージ発信・形成プロジェクトの推進委員としてアンバサダー（大使）任命式（東京新橋電通スタジオ）に出席しました。今年度は平昌オリンピック銅メダリスト、LS北見・カーリング女子チームをPR大使に迎えました。「もぐもぐタイム」で北見銘菓をブレイクさせ、笑顔で「そだねー」を連発し、全国のファンを驚嘆にさせたのは記憶に新しいことと思います。任命式では、「オホーツクは空気が美味しい」、「食べ物が美味しい」等々のメッセージを発信し、駆けつけた50社に及ぶ報道関係者を虜にしておきました。

6月1日から4日までは、オホーツク町村会と東京江東区との交流事業の一環として、深川資料館通り商店街と共同で行った「オホーツク写真展」と「江東区環境フェア」に職員と共に参加してきました。深川資料館通りは、江戸情緒が残る下町で、その街並みや、商店街協同組合の方々と語らう中で、失ってはならない日本の文化を肌で感じる事ができました。環境フェアでは、オホーツクの農業紹介や特産品販売、ジャガイモ掘りの体験コーナーなどを開設し、職員の頑張りには好評を博していました。また、訓子府から参加のイメージキャラクター「めろねっふ」は大人気で、大勢の子ども達から抱きつかれていました。私が宿泊した臨海部は、超高層ビルや無人で走行する「ゆりかもめ」など、近未来的に発展していて、正直驚きましたが、一方で臨海部、埋立地ゆえの、地震や大津波などのリスクに不安が募りました。

7月13日から14日にかけて「第23回全国小さくても輝く自治体フォーラム in 訓子府町」が開催されました。南は沖縄県から、延べ580名の参加者に、平田オリザ氏の講演や子育て、産業、文化などの分科会、さらにリレートークなどを堪能していただきました。雨が心配された交流会や、特産品販売も大好評でした。本町では初めての全国規模の大会であり、大勢の町民の協力と職員の頑張りやフォーラム成功の要因と思えてなりません。



彫刻作品公開制作

アート・タウン・プロジェクトの一環として、彫刻作品の公開制作を8月6日から行います。

今年度は、武蔵野美術大学研究室で勤務される松尾ほなみさんが、訓子府の発展を支えた「馬」をテーマに軟石を彫刻します。

また、8月20日からは、武蔵野美術大学の学生による黒板ジャックも行われ、各小中学校の生徒達に「スゴすぎる」作品を公開します。昨年作品は本町HPでご覧いただけます。

昨年作品

「くわ・くわ・くわ」制作途中



第23回全国小さくても輝く自治体フォーラム in 訓子府町 全国各地から延べ約580人が参加し盛大に開催

「第23回全国小さくても輝く自治体フォーラム in 訓子府町」が、7月13日・14日に訓子府町で開かれました。全国23都道府県（79市町村）から約200人、さらにオホーツク管内市町村の職員研修や町民の方の一般参加を含めると300人近くが来場し、2日間で延べ約580人が参加しました。

自律（立）をめざす小規模自治体の継続と発展を図ることを目的としたフォーラムは、13日に記念講演が行われ、世界的に著名な劇作家で演出家の平田オリザ氏が「新しい広場をつくる 一机上の論理ではない文化による地方創生」と題し、文化を軸とした都市からの移住などを提案しました。

14日は「地域経済の振興」「移住・定住、教育・子育て」「文化・芸術」をテーマにした3分科会が開かれ、道内6市町からそれぞれのまちづくりの取り組みが紹介されました。

また、続いての「リレートーク」では、菊池一春町長のほか、ニセコ町片山健也町長、下川町の谷一之町長が登壇し「小さいからこそできる自治」をテーマに、各町長が人口減歯止めの移住・定住策などまちづくりについて話しました。

■開会行事や交流会 で町民が歓迎

13日の開会行事では、町民合唱団「K NP」と絵本パフォーマーで知られる森下智崇さんが歌と紙芝居で、また、交流会では訓子府民謡同好会と居武士クラブが民謡とバンド演奏で参加者を歓迎しました。



応援団トピック

農業担い手カップルを激励

訓子府町農業担い手対策推進協議会（坂本稔会長）主催の「農業担い手カップル激励会」が、4月3日、町内で開かれ懇親を深めました。

今回は、29年度中に結婚した4組が出席。男性は町内の畑作農家で、女性は近隣市のほか旭川市などから嫁ぎました。

懇親会で各夫婦は、本格的に始まる農作業や訓子府農業の将来について話すなど、なごやかな雰囲気の中で、交流を深めました。

また、訓子府町では、昨年度に引き続き、今年度も農業担い手確保のための「婚活交流事業」を実施します。11月23日～25日の日程で関東圏の女性を招いて、農業青年との交流を深める予定です。



北海道常呂郡訓子府町東町398番地 訓子府町役場企画財政課

Tel 0157-47-2115 Fax 0157-47-2600

E-mail: kikaku@town.kunneppu.hokkaido.jp

URL: <http://www.town.kunneppu.hokkaido.jp/>